

2015年9月関東・東北豪雨における 緊急放送対応について

2016年12月5日

ケーブルテレビ株式会社
代表取締役 高田 光浩

目次

- ケーブルテレビ株式会社(CC9)について
- 番組制作体制について
- 平時の防災・災害に関する取り組み
- 関東・東北豪雨に関する緊急放送・会社の取り組み
- 振り返りと改善対策
- まとめ

ケーブルテレビ株式会社(CC9)概要



1991年10月1日開局

本社・栃木センター(栃木県栃木市)

館林センター(群馬県館林市)

結城センター(茨城県結城市)

筑西センター(茨城県筑西市)

5市3町 ホームパス167,000

(※関東・東北豪雨の2016年9月時点では4市2町)

番組制作体制について

【TVグループ】
コミュニティチャンネル事業

【FMグループ】
コミュニティFM事業

**栃木
エリア**

**群馬
エリア**

**茨城
エリア**

**栃木市
エリア**

今年11月に第2ネットワーク放送を開始した。
栃木・群馬・茨城の放送エリアごとに4つのチャンネルを放送している。
放送エリアごとにスタッフが常駐し、オリジナルの番組制作と放送を行う。

県内初のコミュニティ放送局として
昨年11月3日開局。開局2か月前の
9月の豪雨の際には、試験放送を中止し、
臨時災害放送局を立ち上げた。

番組制作体制について



グループ	エリア	勤務地	社員 (男:女)	業務委託 (男:女)	協力会社
TV	栃木 2市1町	本社 栃木センター	12 (4:8)	6 (3:3)	2
	群馬 1市2町	館林センター	3 (1:2)	6 (4:2)	1
	茨城 2市	結城センター	4 (2:2)	7 (3:4)	1
筑西センター		—	—	—	
FM	栃木市	本社／サテライト	4 (2:2)	22 (5:17)	2
合計			23 (9:14)	41 (15:26)	6 5

番組制作体制について(コミュニティチャンネル)



エリア	平成27年度 取材件数	内訳 (ニュース)	内訳 (企画)	平成27年度 番組制作本数
栃木	1,490	(1,093)	(397)	601
群馬	1,115	(673)	(442)	544
茨城	1,023	(586)	(437)	488
合計	3,628	(2,352)	(1,276)	1,633

防災における対応強化指針

平時の広報と緊急時の初動強化を図り、
防災減災に貢献する。

- 緊急放送対応基準の作成。(必要に応じて更新)
- 緊急放送訓練の継続実施。
- 防災啓蒙番組の制作。
- 行政機関や他メディアとの連携強化。

平時の防災・災害に関する取り組み ＜自治体、消防・警察との情報連携＞

- 県・市・町、消防・警察から発信された防災防犯、災害情報を住民に無料メール配信（CC9生活安全情報）
- コミュニティチャンネルのデータ放送へ自動表示
気象情報、地震発生、防災防犯、消防出動など
- 自治体と連携し、コミュニティチャンネルにJ-ALERT情報をL字放送にて自動表示



平時の防災・災害に関する取り組み ＜防災協定、メディア連携＞

- ・サービスエリア内の4市3町と防災協定を締結
緊急連絡網の取り交わり ※残る1市(下野市)とは協議中
- ・とちぎテレビ(県域テレビ)と災害報道協定を締結
 - 【緊急時】 情報・映像素材の相互補完
生放送中の電話リポート
 - 【平時】 ニュース素材の交換

平時の防災・災害に関する取り組み ＜防災訓練、緊急放送訓練＞

＜防災訓練＞

- ・各自治体主催の総合防災訓練に参加

＜緊急放送訓練＞

- ・TVグループ(コミュニティチャンネル) 毎月1日
- ・FMグループ(コミュニティFM) 毎週木曜日

第1週: 栃木市役所、第2週～第5週: FM局が担当

平時の防災・災害に関する取り組み ＜社内体制＞

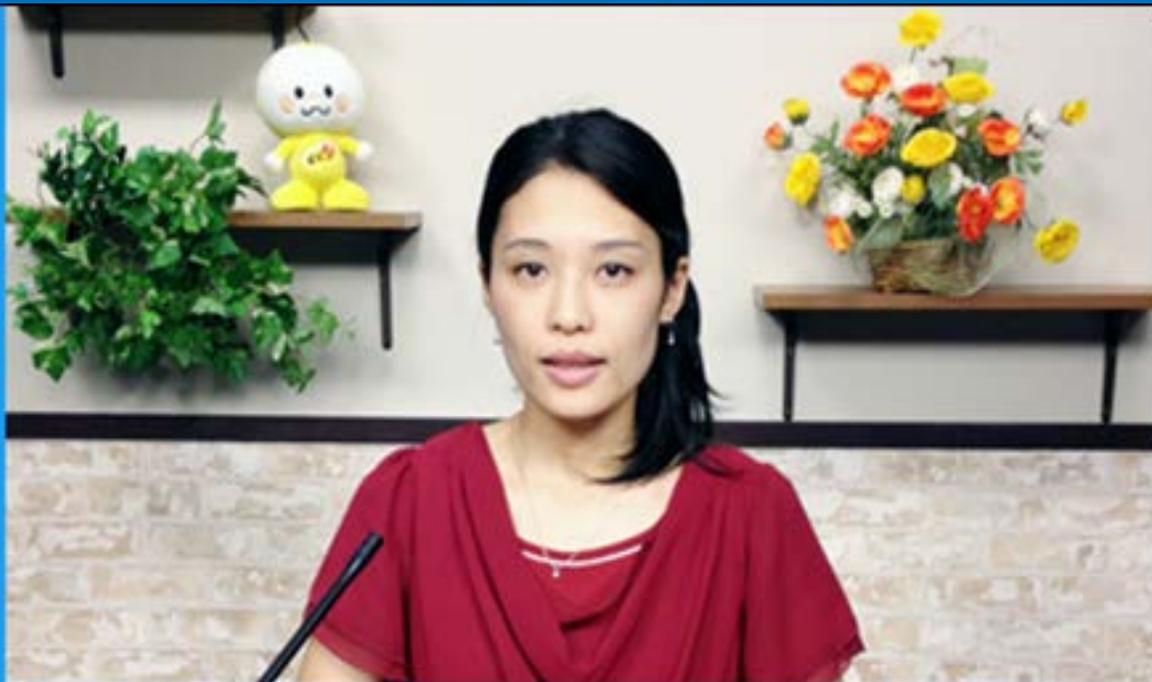
・毎朝のミーティング時に緊急放送対応スタッフを決定

指示責任者 (出社の最上長)

災害放送 放送責任者、アナウンサーの2名
(係長もしくは主任)(当日ニュースMC)

告知放送 放送責任者、補佐の2名
(ミーティング当番)(挙手制)

緊急情報



こちらは 栃木市役所 です。県内で震度6弱の地震が

- 文字速報
- 生放送、生中継
- ライブカメラ
- データ放送
- コミュニティFM

コミュニティチャンネル 111ch

生活情報 防災・防災 地産 イベント 自治体の情報 関東の週間天気 鉄道・道 運行情報 ケーブルテレビ

栃木市の週間天気	20火	21水	22木	23金	24土	25日	26月
天気	☀	☀	☁	☁	☁	☁	☁
降水%	10	10	20	60	20	20	30
最高/最低	16 / 10	13 / 6	16 / 3	16 / 6	12 / 4	14 / 2	15 / 3

気象(特別警報) 地震情報

ケーブルテレビからの重要なお知らせ

データ放送をご活用ください。リモコンのdボタンを押すだけで、生活に役立つ様々な

青 自治体を変更 赤 火災情報 緑 休日・夜間診療 黄 コミch放送内容 d テレビ画面へ

コミュニティチャンネル 111ch

防犯・防災・地震

火災情報(消防出動情報)

防災情報

気象警報・注意報情報

地震情報

防犯情報

災害への備え

避難場所一覧

リモコンの[!!]で選択して[決定]を押してください。

緑前の画面へ 黄 トップ画面へ d テレビ画面へ



2014年8月10日 栃木県栃木市・壬生町の突風被害

午前11時40分頃から緊急L字放送→午後1時から現場取材映像で緊急放送



東日本大震災後の主な緊急放送実績

2011年3月11日～4月10日 東日本大震災

2014年2月 大雪被害

2014年8月 栃木市・壬生町の突風被害

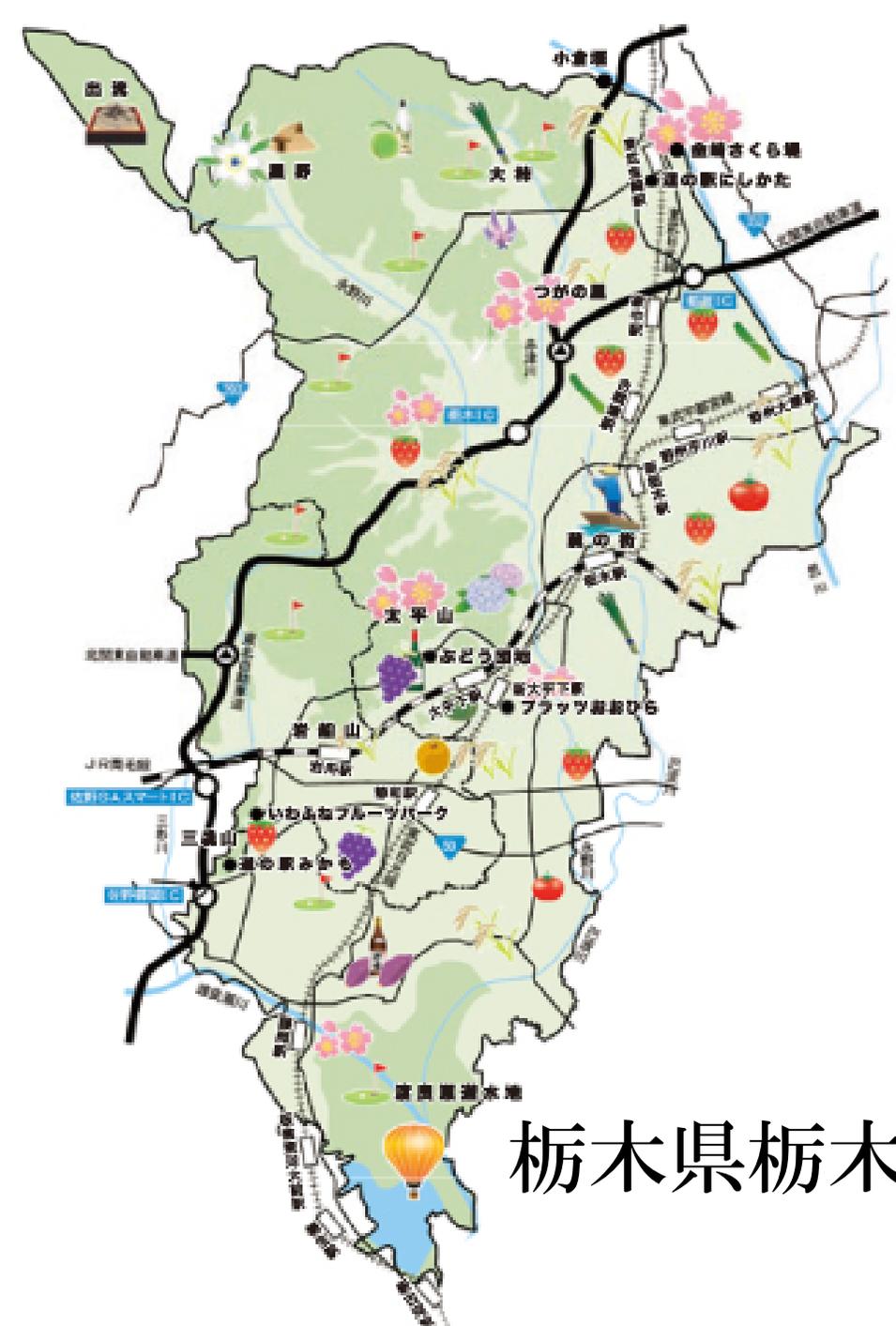
2015年9月～10月 関東・東北豪雨

2016年2月19日～22日 栃木市役所への爆破予告メール

2016年8月～9月 台風7号・9号・13号被害

<通年>

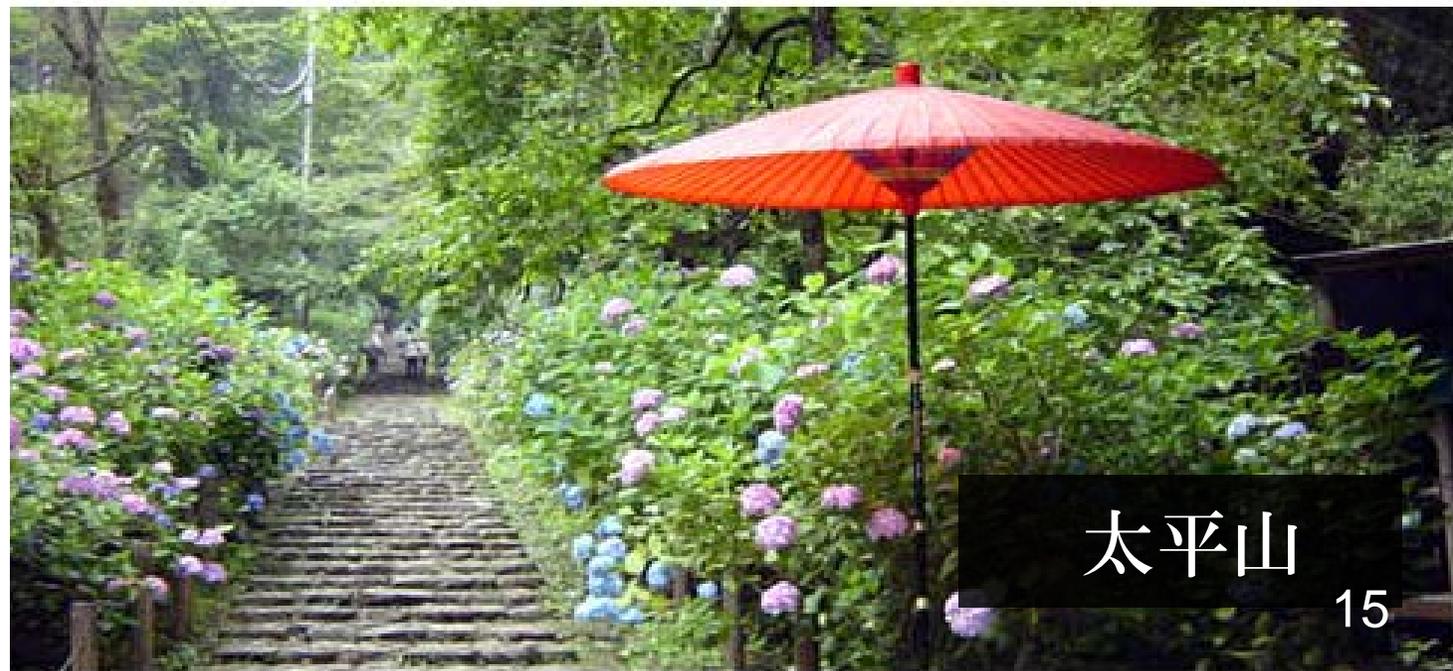
- ・雷や大雨、台風、竜巻に関する注意喚起、学校登校時間・イベント時間変更
- ・交通死亡事故多発警報、犯人逃走中、徘徊老人



栃木県栃木市



巴波川



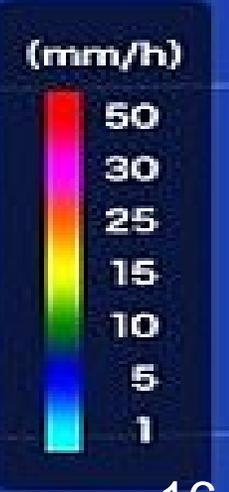
太平山

09月10日00時25分



栃木市

**線状降水帯と呼ばれる
積乱雲の細長い固まりが次々と発生**



【参考】日本気象協会様ホームページ

関東・東北豪雨 2015年9月9日～ ＜栃木県／栃木市の被害＞

- 3日間雨量600mm超(9月月間平均の倍以上)地点多数
- 気象庁が栃木県に初の大雨特別警報を発表
- 東武宇都宮線安塚－西川田駅間が1か月近く不通
- 政府が栃木県などの農業被害を激甚災害に指定

住宅被害	栃木県全体	栃木市
床上浸水	1,100棟	635棟
床下浸水	3,939棟	1,990棟
全壊・半壊	989棟	89棟
土砂災害	586件	75件
犠牲者	3人	1人
避難者(ピーク時)	2,677人	1,055人

関東・東北豪雨 2015年9月9日～ <ケーブルテレビ(株)放送エリアの被害>

県	市町	床上浸水(棟)	床下浸水(棟)
栃木県	栃木市	635	1,990
	下野市(開局前)	8	5
	壬生町	27	78
茨城県	結城市	59	155
	筑西市	111	96
群馬県	館林市	0	0
	板倉町	0	0
放送エリア合計		840	2,324

床上・床下浸水
 3,164棟

関東・東北豪雨に関する緊急放送

	栃木エリア	茨城エリア	群馬エリア
コミュニティチャンネル メインチャンネル	緊急L字・取材映像・ スタジオ生放送	緊急L字・取材映像	緊急L字
コミュニティチャンネル サブチャンネル	静止画像・FM音声放送	通常放送	通常放送
コミュニティFM とちぎさいがいえフエム	FM音声放送 (栃木市内の一部)	—	—

関東・東北豪雨に関する緊急放送(栃木エリア)

<コミュニティチャンネル(平時はメインCH:地域総合番組、サブCH:ショッピング)>

9月9日 メインチャンネルで緊急放送開始(14日～特別放送)

9月15日 サブチャンネルでFM音声放送開始

9月20日 メインチャンネルの緊急放送終了

10月12日 サブチャンネルのFM音声放送終了

<コミュニティFM(とちぎさいがいえフエム)>

9月15日 試験放送を中止し、臨時災害放送局を開設

10月30日 臨時災害放送局の閉局(11月3日FMくらら857開局)

関東・東北豪雨に関する緊急放送(栃木エリア)

<コミュニティチャンネル>

<コミュニティFM>

メインチャンネル

サブチャンネル

9月9日
10日
13日
14日
20日

緊急L字+通常番組

緊急放送期間
通常番組完全休止
(一部の時間除く)

特別放送期間
通常編成の一部の時間

15日

通常放送

とちぎさいがいFM音声
+ 静止画像
(10月12日まで放送)

栃木市コミュニティFM
試験放送

臨時災害放送局
とちぎさいがいFM
(10月30日まで放送)

FM85.7 MHz 臨時災害放送局 「とちぎさいがいえフエム」 放送中

放送では、栃木市が提供する大雨被害の相談先などの
支援情報や生活情報を市民に向けて発信します

聴取方法

栃木ケーブルテレビ

地上デジタル112チャンネル

11を押してから上矢印または
プラスボタンを1回押す



ラジオ・カーラジオ



■ とちぎさいがいえフエム お問い合わせ先 ■
栃木市役所 秘書広報課 0282-21-2316
コミュニティチャンネル
サブチャンネル放送画面

コミュニティチャンネル 9月9日(水)

時刻	栃木エリア 事象	栃木エリア 放送内容	時刻	茨城エリア 事象	茨城エリア 放送	
9:00	悪天候予想確認 関係機関の情報収集開始	緊急L字速報・注意喚起 (+通常番組)	9:00	悪天候予想確認	緊急L字速報・注意喚起 (+通常番組)	
夕方	土砂災害警戒情報 栃木市に避難勧告	↓	18:00	栃木センタースタッフに 引継ぎ	↓	
19:00	スタッフへ緊急出社要請 緊急取材協議		19:00	スタッフへ緊急出社要請 緊急取材協議		最新情報を 常時挿入
20:30	取材班4班8名取材開始		22:00	取材班1班2名取材開始		
23:30			スタジオから緊急生放送+ L字			
24:20	栃木県に大雨特別警報発表	取材映像+L字(速報・繰り 返しの注意喚起情報)				
		↓	3:50		取材映像+L字(速報・繰り 返しの注意喚起情報)	
明朝6:00 まで	出社スタッフ全員待機 ※帰宅困難者含む			スタッフ1名待機	↓	最新情報を 常時挿入

コミュニティチャンネル 9月10日(木)・11日(金)

時刻	栃木エリア 事象	栃木エリア 放送内容	時刻	茨城エリア 事象	茨城エリア 放送
7:00	栃木市の24時間雨量が300ミリ超 一部スタッフを帰宅させる きょうの対応確認 映像取材再開	取材映像+L字(速報・繰り 返しの注意喚起情報)	7:45	茨城県に 大雨特別警報発表	取材映像+L字(速報・繰り 返しの注意喚起情報)
		↓ 最新情報を 常時挿入	9:00	きょうの対応確認 映像取材再開	ニュース時間を特番に差し替 え+L字(速報・繰り返しの注 意喚起情報)
24:00	スタッフ全員一時帰宅	↓			↓ 最新情報を 常時挿入
9月11日 6:00	スタッフ出社(栃木・茨城共に)	取材映像+L字(速報・繰り 返しの注意喚起情報)	9月11日 6:15	大雨特別警報解除	ニュース時間を特番に差し替 え+L字(速報・繰り返しの注 意喚起情報)
8:15	大雨特別警報解除	↓			↓
9:00	きょうの対応確認 映像取材再開	↓ 最新情報を 常時挿入		きょうの対応確認 映像取材再開	↓ 最新情報を 常時挿入
25:00	スタッフ解散	↓	25:00	スタッフ解散	↓

緊急情報



緊急情報



栃木市大平町富田
9日(水)午後9時10分撮影

とされました。南犬飼中学校・南犬飼地区公民館・壬生東小学校・睦小養町、倭町の住民約1,190世帯、2,660人に避難勧告を発令しました。

緊急情報



壬生町 淀橋
9日(水)午後10時11分撮影

緊急情報



壬生町役場
9日(水)

9月9日午後11時30分頃
(生放送による緊急特別番組より)

避難判断水位(レベル3)に到達。水位はさらに上昇する見込みです。川

緊急情報

避難勧告（栃木市）

大平地域

西山田地区

大平町下皆川

大平公民館

大平公民館

洪水注意報（発表）栃木県宇都宮地方気象台

緊急情報

大雨特別警報

栃木県全域

9月10日午前0時30分頃
（大雨特別警報発表から10分後）

の影響で、宇都宮～黒磯駅間の上下線で運転を見合わせています。また、

緊急情報

栃木市内

10日(木)午前7時ごろ撮影



して下さい。

9月10日放送より



街の様子

9月11日放送より



避難所開設情報

9月9日放送より



被害状況

9月11日放送より



冠水・通行止め情報

9月11日放送より



住民の声

9月10日放送より



休校・登下校時間情報

9月10日放送より



断水状況・給水所情報

9月13日放送より



災害ごみの申請・受入 ボランティア募集

9月13日放送より

会社全体の取り組み

- 社員や協力会社スタッフがホームビデオやスマホによる映像提供
- 社長・社員で復旧ボランティア活動
- 被災されたお客様に対して利用料返金(床上浸水の家屋を対象)
- 被災地域ご利用者への声掛けとサービス復旧のお手伝い
- 避難所へのケーブルテレビ無料引込、無料テレビ貸出

主な改善対策

- 初動の体制・対応内容の見直し
- 自治体との反省点の共有、緊急時の再構築
- 緊急放送訓練の改善
- 機材・備品の常備
- 河川・道路ライブカメラの整備
- 携帯動画・画像投稿の整備
- 電話生音声によるレポート
- データ放送画面・掲載情報の改善
- ホームページ、SNSへの情報掲載
- 災害の教訓を次につなげる番組制作
- 社内への情報伝達方法の確認
- ハザードマップの検証、自治体への確認
- スタッフの防災士資格取得を推進

緊急放送対応基準(コミュニティチャンネル)

	地震災害	風水害	その他
待機	エリア内で震度3以下を観測 コンテンツ部社員は、連絡可能状態を維持	エリア内に気象注意報が発表 コンテンツ部社員は、連絡可能状態を維持	平常時 コンテンツ部社員は、連絡可能状態を維持
緊急出社	放送エリア内で震度4を観測 課長、係長、主任の管理者間で 出社スタッフを判断、出社対応 放送エリア内で震度5弱以上観測 管理者全員、フルタイム全社員出社対応	放送エリア内の1か所以上で気象警報発表 課長、係長、主任の管理者間で (予め) 出社スタッフを判断、出社対応	放送エリア内の 自治体・消防署・警察署より要請がある場合 課長、係長、主任の管理者間で要請確認 ⇒スタッフ出社指示 ⇒出社対応 ⇒放送要請詳細の確認
放送開始 第1 非常態勢	震度4でエリア内被害なし 出社スタッフで対応 ⇒ <u>L字放送</u>	自治体が災害対策本部設置 出社スタッフで対応 ⇒ <u>L字放送</u> 対策本部未設置の場合 ⇒警報のL字放送のみ	要請内容確認した場合 出社スタッフで対応 ⇒ <u>L字放送</u>
第2 非常態勢	震度4以上で被害あり 出社スタッフで1次対応 ⇒ <u>通常放送を緊急放送に切替</u> 震度5弱以上の場合 全社員出社要請 即時放送対応開始 ⇒ <u>通常放送を緊急放送に切替</u> X時間後 家族安否を確認 未確認者⇒安否確認 確認者⇒放送対応 Y時間後 安否確認者で8時間シフト	放送開始から8時間超の場合 管理者、社員に出社要請 放送エリア内に 土砂災害警戒情報が発表 または、被害発生 ⇒ <u>通常放送を緊急放送に切替</u>	「告知内容が重要かつ緊急」と判断した場合 ⇒ <u>通常放送を緊急放送に切替</u> 放送開始から8時間超の場合 管理者、社員に出社要請 8時間シフトを実施 放送エリア内に被害が発生した場合 全社員の緊急出社を要請

自身の身の安全の確保、家族の安全を確認後の出社を原則とする。

地震発生第1報 放送対応基準 (FMくらら857)

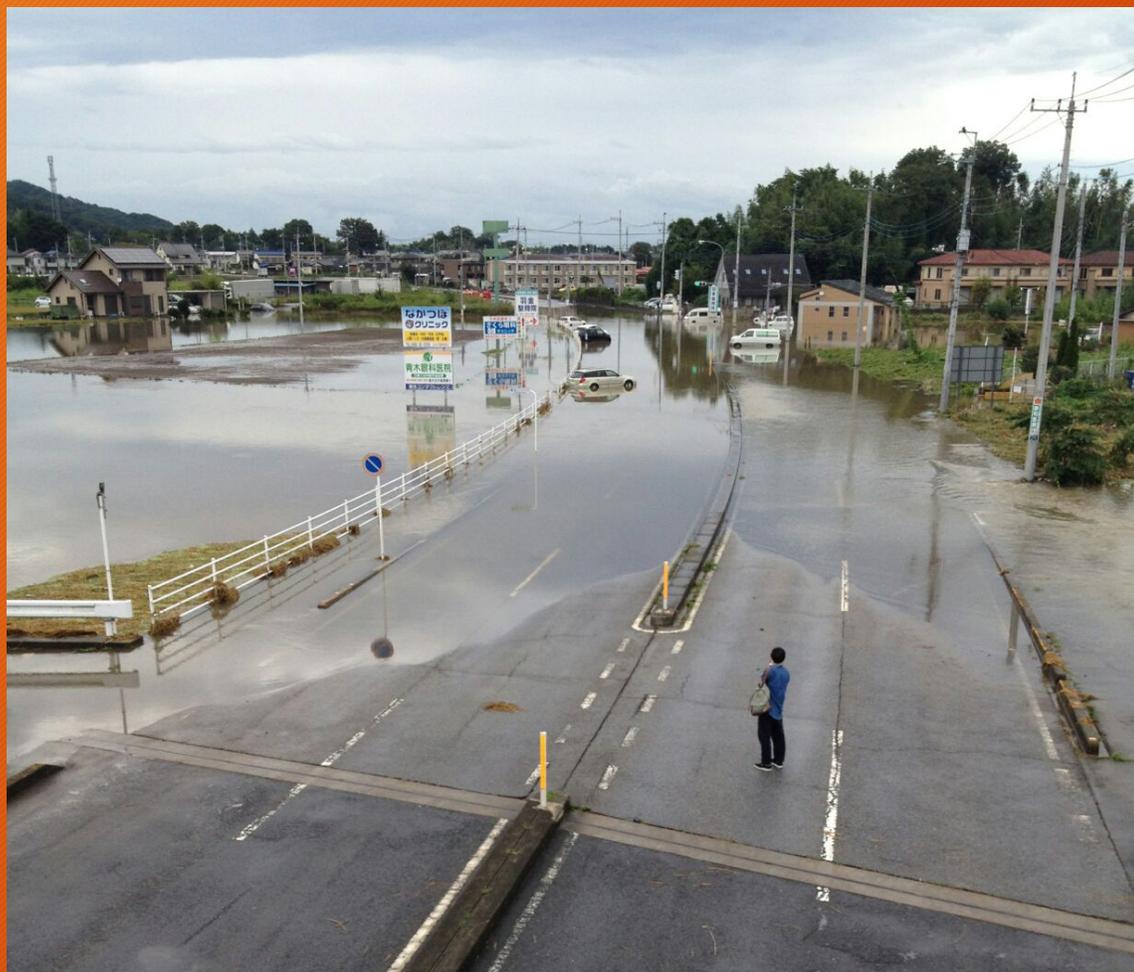
震度	スタッフ在局時		スタッフ不在時 (2016年度内に 電話割込み整備)
	生放送時	録音放送時	
3	番組内フォロー CMカットしない		
	パーソナリティ	社員 又は パーソナリティ	(電話)
4	番組即中断 状況に応じて再開		
	パーソナリティ	社員 又は パーソナリティ	出社(電話)
5弱以上	番組即中断 状況に応じて再開		
	社員 又は パーソナリティ	社員 又は パーソナリティ	防災ラジオ自動起動 出社(電話)

緊急地震速報発報の際は、
番組を即中断し身の安全確保を呼びかける。

【改善対策】 災害の教訓から防災啓蒙番組の制作・放送 9月の防災特集、毎月定例の消防番組



【改善対策】 スマートフォンなどによる動画・画像 投稿の呼びかけ、投稿システムの整備



- 社員や協力会社スタッフの協力
- 地域住民からの自由投稿

素早い情報収集のため、
日頃からの投稿を実施して、
いざという時に備える。

【改善対策】常設ライブカメラの増大

当社ライブカメラページアクセス数(件/日)

9月8日	9日	10日	11日	12日	13日
104	9,753	11,134	1,132	408	267

栃木市の中心部にある蔵の街大通りを映すライブカメラ。
災害発生の日から3日間に特にアクセスが集中した。
渋滞が起きやすい道路、少量の降雨でも水が溢れやすい河川、
大規模避難所となる公園などを映すライブカメラの設置増大を進める。

2017年4月 防災チャンネルを新設【準備進行中】 道路・河川・景観カメラ、地域情報 — 迅速な情報伝達の為に —

◇道路LIVE（画面イメージ）



◇交通機関情報（画面イメージ）



◇写真投稿ひろば（画面イメージ）



◇情報伝言板（画面イメージ）



- ・地域ライブカメラ映像
- ・気象情報
- ・防災防犯情報
- ・地域情報
- ・防災防犯啓蒙番組の放送などを放送予定

ネットワークの強靱化 災害・被災時における情報伝達への対策

- ケーブルテレビ幹線の冗長化
- サービス提供を止めない対応（断線時の対策を検討）
- 地域BWAなどの活用による音声伝達

ご清聴ありがとうございました。